

令和4年 公認会計士試験
TAC 合格祝賀パーティー



TAC管理会計論-テキストチェックゼミ(安達)

第0回 体験会

2023年11月26日(日)14:00～

ガイダンス ～はじめに ※注意点※～

本ゼミは、「**論文生(リスタート生)**」を対象にしております。

そのため、短答生、論文生(初年度生)にとっては、重荷になる内容になっています。必ず、T A Cのカリキュラムをしっかりと消化するようにしてください。

また、論文生(リスタート生)であっても、他科目の成績が良くない方は必ず苦手なものを優先して勉強するようにしましょう。

総じて、去年の参加者からの感想は、

「とっても大変で、しんどかったけど、受けて本当によかった！」

でした。

準備など、大変だと思うので、他にめちゃくちゃ優先するものがある方は、そちらをやってください。必要があれば、相談してください。

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

Q. なぜ，勉強をしているのか？

→本試験で点数を取れるようにするため。

Q. 本試験で点数を取れるようにするためにはどうするのか？

→本試験で行うことの練習を勉強する段階からいかに作りこめるのか。が重要。

では，本試験で行うこととは何でしょうか？

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

ここで、本試験で皆さんが行う思考の過程について考えてみましょう。

管理が苦手な人

問題文を読む



問われている内容について思考する。



わー。難しいなあ。見たことないなあ。頑張ってみよう



解答する。

管理が得意な人

問題文を読む



問われている内容の全体像を把握し、自分の知識の中から、今回の問題に使えるような内容を探して当てはめる。



解答する。

自分の頭の中に入っている知識を
今回の問題にいかに適応させるかが
できる人＝管理が解ける人
です。



**管理会計論の知識が整理整頓された
状態で使える知識として入って
いなければならないのです！**

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

他の科目もそうですが、特に、管理会計論はいかに自分の知識を“使うのか”が大事です。
ここで意識してほしい考え方は「具体と抽象」です。

皆さんが普段解いている問題は「具体」です。

例えば、「 $19+28=47$ 」これは具体ですね。

「 $19+28$ 」は

皆さんはな

→教科書の

「1の位から

これがまさ

この、抽象

ただし。問

不可能ですよ。新しい問題が解けるようになることは。

**19+28を何度も何度も繰り返す勉強ばかりしてきていませんか？
それだと、新しい問題が解けるようになることは正直不可能です。**

**どうしなきゃいけないか。
テキストをしっかりと理解して使えるようにするしかないですよ。**

**管理会計論は、利用者にとって有用であれば、いいんです。
無数に問題を作成することができます。
自分の持っている知識をいかに当てはめることができるのか。
ここを意識しましょう。**

生まれます。

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

そのため、管理会計論においては、知識も入っていないのに演習問題をやりこむことにあまり意味はないです。（個人的見解）

問題演習で大事ななのは、複数回やることではないです。大事ななのは、新しい（見たことない）問題を見たときに、自分の既存の知識を引き出してどう対応するのか。

まずは、自分の中に、使える知識をしっかりとため込むことが超重要です。

→それが、**テキストを読むということです。**

→**テキストは読んでいるだけでなく、テキストがない状態でも内容を思い出せなければなりません。**

→**超緊張&焦りの中でテキストを思い出せなければならないんです。**

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

あえて今回のゼミは参加者の皆さんにあてることにしています。

これは、本試験の緊張の中、焦りの中でも冷静に自分の持っている知識を吐き出せるかどうかを訓練するためです。

今回のゼミは予習必須です。が。テキストの範囲を逸脱することは一切ありません。

ただし、テキストを暗唱してきて何にも理解していないのは本当にお勧めしません。

論文理論問題集もそうですが、暗唱は大反対です。必ず、しっかりと内容を理解したうえでこのゼミに臨んでください。

予習不十分の状態に参加してもらおうと、全く進まなり他の人に迷惑になります。僕のことを嫌いになるかもしれませんが、それくらいしっかりとした覚悟をもってこのゼミに参加してもらいたいと思っています。

最後までついてきてくだされば、管理が超得意になっているはずです。頑張りましょう。

ゼミ運営のルール

- ① 当てられたら必ずミュート解除してください！！
- ② 質問は最後にまとめて受けます！！
- ③ 試行錯誤やっておりますので、不手際等は申し訳ありません。
- ④ なるべく当てられる側になりましょう！視聴者だと効果は大半減します。
- ⑤ 参加者が多いと全員当てられない可能性もあります。偏るかもしれません。嫌っているわけではなくて、単純に私のミスです。。申し訳ないですが、アピールください。。
- ⑥ 今年でもう最後にしましょう！！みんなで合格！！！！
- ⑦ 参加者への悪口などは絶対に禁止をお願いします！！
- ⑧ ゼミ運営の場においては、皆様に気持ちよくなってもらいたいとは思っていません。最終的に合格されることがサービスだと思っています。時に厳しいこと、不快に思われることなどあるかもしれませんが、悪意はなく、皆様に奮起していただきたい気持ちですので、ご理解ください。

ゼミ運営のルール part2

- ⑨ 視聴者参加で私の質問をひたすらメモるのはなしでお願いします。正直意味ないです。
- ⑩ **質問中はテキストを見てはいけません。全部終わってからテキストを開いてください。**
- ⑪ テキストを見て答えていることが発覚したら, , , , , とんでもないことになります。
- ⑫ わからないことはなるべくこの時間までに解消してきてください。
- ⑬ Twitter のDMで質問していただいてもいいですが, 最近めっちゃめっちゃ返事遅いです。。。推奨しません。。。。
- ⑭ わからなかったことを後で確認できるように何かメモする紙があったほうがいいです。
- ⑮ ぜひ, 勉強仲間がいる人は友達同士でもやってみましょう！
- ⑯ いつか交流会したいですね～。

ゼミ受講の仕方

1. **予習必須**です。中途半端な予習は他の参加者の迷惑になりますので、頑張ってやってきてください。

2. テキストの読み方

- 自分の頭の中の知識を整理整頓しましょう。そのためには、論点のつながりを意識したテキストの読み込みをしましょう。→テキストの見出しを読む、目次でテキストを思い出す等。
- テキストを読むにあたって、疑問を持って読むようにしましょう。そして、その疑問を自分で解決するようにしましょう。これは、論文試験での考え方につながります。→棚卸減耗費は、なぜ間接材料費ではなくて、間接経費なのか？
- 5分でも2分でも1分でも、よいのでテキストを思い出しましょう。思い出すことがとっても大切です。アウトプットしようと思わないと、インプットできません。

3. ゼミ中

- 要らない紙などを手元において、後で確認したいことや、質問事項などあればメモしておいてください。
- 他人が当てられているときに、自分が当てられたと思って考えておきましょう。
- **質問を繰り返し読み上げるのは大変なので、集中力もってお願いいたします**<m(__)m>

ゼミ受講の仕方 ～ 2. の補足

論文式試験における問題の考え方は下記の通りになるかと思います。

Q. 棚卸減耗費≠間接材料費となり，棚卸減耗費＝間接経費になるのはなぜか

ここで，間接材料費と間接経費で，間接費になることは問題ない。

棚卸減耗費が材料費ではなくて経費となることについて証明する。

それぞれの定義を確認すると，

材料費＝物品の消費によって生じる原価

経費＝材料費，労務費以外の原価要素

棚卸減耗費＝紛失，盗難，破損，蒸発などによる減少分

上記より，棚卸減耗費は，材料費の定義を満たさない。また，労務費ではないことは自明であることから，

∴棚卸減耗費は間接材料費ではなく，間接経費となる。

(Q.E.D)

ガイダンス ～〈原価計算編〉スケジュール～

回数	実施日	時間(目安)	実施テーマ
1	2023年12月14日(木)	19:00~21:00	ガイダンス&材料費
2	2023年12月21日(木)	19:00~21:00	第2章：費目別計算
3	2023年12月28日(木)	19:00~21:00	第3章：製造間接費の配賦～第4章：部門別計算
4	2024年1月11日(木)	19:00~21:00	第5章：個別原価計算
5	2024年1月18日(木)	19:00~21:00	第6章：総合原価計算
6	2024年1月25日(木)	19:00~21:00	第7章：標準原価計算
7	2024年2月1日(木)	19:00~21:00	第8章：直接原価計算，第1賞：原価計算総論
8	2024年2月8日(木)	19:00~21:00	原価計算総復習

ガイダンス ～〈管理会計編〉スケジュール～

回数	実施日	時間(目安)	実施テーマ
9	2024年2月15日(木)	19:00~21:00	第1章：管理会計総論，第2章：財務情報分析
10	2024年2月22日(木)	19:00~21:00	第3章：CVP分析，第4章：予算管理
11	2024年2月29日(木)	19:00~21:00	第5章：資金管理，第9章：設備投資意思決定
12	2024年3月7日(木)	19:00~21:00	第6章：原価管理
13	2024年3月14日(木)	19:00~21:00	第7章：ABC／ABM，第8章：業務的意思決定
14	2024年3月21日(木)	19:00~21:00	第10章：分権組織とグループ経営
15	2024年3月28日(木)	19:00~21:00	管理会計総復習，第Ⅲ部：補足論点（ほんのちょっとだけ）

費目別計算

24年目標テキスト P 18～ P 42

原価計算基準 11～14

※スライド番号43ページまであります！！

材料費について

Q.
材料費とは何ですか？

材料費について

Q.
直接材料費、間接材料費それぞれの費目の計算方法とその理由を教えてください。

Q.

継続記録法と棚卸計算法はそれぞれ何を計算する計算方法ですか。

Q.

棚卸減耗費は原価計算上どのように処理しますか？

Q.

棚卸減耗費が、間接材料費ではなく、間接経費になるのはなぜですか？

Q.

実際購入原価の計算はどのように行いますか？

材料費について

「令和5年第1回短答式試験 問題2より」下記の選択肢の問題を解答するにあたり、〔資料〕に記載のありそうな情報は何か？

問題 2 当工場では、材料Xを主要材料として製品Yを製造している。当工場における次の〔資料〕に基づき、当月の材料Xに関する材料費計算の結果として最も適切なものの番号を一つ選びなさい。なお、計算過程で端数が生じる場合、計算途中では四捨五入せず、最終数値の円未満を四捨五入すること。（7点）

1. 材料副費実際発生額のうち、外部副費は1,387,540円であり、内部副費は1,313,820円である。
2. 材料Xの単位当たり購入原価は8,970円/kgである。
3. 製造間接費は合計で6,067,580円である。
4. 材料副費配賦差異は33,515円の不利差異である。
5. 検収費が35,200円上昇した場合の材料Xの単位当たり購入原価は9,020円/kgである。

材料費について

「令和5年第1回短答式試験 問題2より」
次の問題文から想起されるテキストに記載の内容はどういったものがありますか。

回答例) 内部副費は購入代価又は購入数量を基準として予定配賦をすることになっていたが、今回は購入代価を用いている。

当工場では、材料Xを主要材料として製品Yを製造している。当工場における次の〔資料〕に基づき、当月の材料Xに関する材料費計算の結果として最も適切なものの番号を一つ選びなさい。なお、計算過程で端数が生じる場合、計算途中では四捨五入せず、最終数値の円未満を四捨五入すること。(7点)

〔資料〕

- 1. 当月の材料X購入量 4,950 kg(購入単価 8,750 円)
- 2. 当工場では材料Xの購入代価の3.8%を内部副費予定額として計上している。
- 3. 当工場では内部副費は間接経費として処理している。
- 4. 当月の材料副費実際発生額(工場経理は「原価計算基準」に例示されている費目および分類にしたがっている。)

引 取 運 賃	341,600 円	購 入 事 務 費	359,200 円
手 入 費	95,200 円	保 管 費	330,120 円
荷 役 費	222,100 円	買 入 手 数 料	190,490 円
選 別 費	298,540 円	整 理 費	317,000 円
検 収 費	212,300 円	保 険 料	123,700 円
関 税	211,110 円		

- 5. その他の製造間接費の総額(当月)は、4,455,220 円である。
- 6. 材料副費は全て材料Xに関連して発生している。
- 7. 主要材料は材料Xのみであり、主要材料以外の材料は、購入時に全て間接材料費として処理している。

- 1. 材料副費実際発生額のうち、外部副費は1,387,540 円であり、内部副費は1,313,820 円である。
- 2. 材料Xの単位当たり購入原価は8,970 円/kg である。
- 3. 製造間接費は合計で6,067,580 円である。
- 4. 材料副費配賦差異は33,515 円の不利差異である。
- 5. 検収費が35,200 円上昇した場合の材料Xの単位当たり購入原価は9,020 円/kg である。

労務費について

Q.

労務費とは何ですか？

Q.
直接工賃金，間接工賃金とは何ですか？（どのように計算しますか。）

Q.

直接工賃金の計算から、間接労務費は生じますか。
生じるとすれば、それは何ですか。

製造間接費の配賦計算について

24年目標テキスト P 43～ P 59

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費の配賦計算の原則的な処理はどのような処理ですか？また、容認処理は何でしょうか。

Q.

予定配賦の利点を端的に 2 つ答えただうえで、その後理由を述べてください。

製造間接費の配賦計算について

Q.

原価管理の観点からは、予算差異と操業度差異どちらを厳格に把握すべきですか。また、その理由は何ですか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

基準操業度の種類を 4 つ挙げてください。